

施策評価調書(26年度実績)

施策コード | II-5-(1)

| | | | | | | |
|------|-----|------------------|-------|-------------------------|---------|-----|
| 政策体系 | 施策名 | アジアに開かれた飛躍する県づくり | 所管部局名 | 企画振興部 | 長期総合計画頁 | 107 |
| | 政策名 | 海外戦略の推進 | 関係部局名 | 企画振興部、福祉保健部、商工労働部、農林水産部 | | |

【Ⅰ. 主な取り組み】

| 取組No. | ① | ② | ③ |
|-------|-------------|-------------|--------------|
| 取組項目 | アジアの活力を取り込む | アジアの人材を取り込む | 国際交流・国際貢献の推進 |

【Ⅱ. 目標指標】

| 指 標 | | 関連する 取組No. | 基準値 | | 26年度 | | | 27年度 | 目標達成度(%) | | | | | | | | | | | |
|-----|---------------------|---------------|-----|-----|------|----|--------|------|----------|----|----|-----|-----|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | 年度 | 基準値 | 目標値 | 実績 | 達成度 | 目標値 | 25 | 50 | 75 | 100 | 125 | | | | | | | |
| i | 海外展開企業数(社) | ① | H20 | 57 | 88 | 91 | 103.4% | 100 | | | | | | | | | | | | |
| ii | 留学生の県内企業への就職者数(人/年) | ② | H17 | 15 | 46 | 23 | 50.0% | 50 | | | | | | | | | | | | |

【Ⅲ. 指標による評価】

| 評価 | 理 由 等 | | 平均評価 |
|----|------------|--|------|
| i | 達成 | アジアビジネス研究会による海外ネットワークの強化や、企業訪問等により海外に展開している企業をより正確に把握できるようになった。 | 概ね達成 |
| ii | 著しく 不十分 | 全国的な企業等の海外展開傾向による首都圏大手・中小企業の留学生採用意欲の高まり、また留学生の出身国・地域の給与水準が向上して帰国者が増加したことが主な理由で目標値には届いていない。 | |

【IV. 指標以外の観点からの評価】

| 取組 No. | 指標以外の観点からの評価 |
|--------|--|
| ① | ・中国ビジネス研究会を発展的に解消し、大分県アジアビジネス研究会を新たに設立した。講演会を4回開催し、延べ310名が参加した。 タイプロモーションでは、貿易・流通・飲食関係者の出席が前年度の120名から160名と増加し、大分県の魅力をPRできた。 |
| ② | ・H26年度新規事業として、県内留学生が地域の企業を訪問・見学し、企業経営者との交流会(年2回)を開催。中津、宇佐、佐伯各市の企業23社と県内留学生34名が参加し、県内企業側に有能な留学生人材を把握してもらい、今後の活用に資することができた。 |
| ③ | ・海外戦略の展開に伴い、海外でのプロモーションや外国要人来県時の通訳や国際的対応を要する庁内各所属の文書の翻訳件数が増加した。 |

【V. 施策を構成する主要事業】

| 取組 No. | 事業名(26年度事業) | 事業コスト(千円) | 事務事業評価 | | 主要な施策の成果掲載頁 |
|--------|-----------------|-----------|--------|----------|-------------|
| | | | 総合評価 | 27年度の方向性 | |
| ① | 海外戦略推進事業 | 48,592 | A | 継続・見直し | 16 |
| ② | 外国人留学生支援事業 | 32,822 | A | 継続・見直し | 17 |
| ③ | 別府アルゲリッチ音楽祭開催事業 | 38,000 | B | 継続・見直し | 20 |

【VI. 施策に対する意見・提言】

○「安心・活力・発展プラン2005」第1回総合調整部会 (H26.8)
 ・中国や東南アジア等に売り込むことも大事。マレーシアやインドネシアには富裕層が多く、そういった方は「安心・安全」な食材を求めためすぐに売れるだろう。
 ○「安心・活力・発展プラン2005」第3回活力部会 (H26.12)
 ・海外需要を取り込むには、それに取り組む人が一番重要。語学ができて、その場で物が売れる、そういう人がいないと回っていかない。

○「安心・活力・発展プラン2005」第3回総合調整部会 (H27.3)
 ・これから国内需要も減っていくので、アジアにアクセスしなければならない。また、アジアから人材も引っ張ってくるのが重要。そのため県が中小企業のバックアップをし、手続の入り口までアプローチしていくことも必要。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

| 総合評価 | 施策展開の具体的内容 |
|------|--|
| B | <ul style="list-style-type: none"> ・県産食材と観光が一体になったプロモーション活動を台湾と香港で実施する。 ・大分県アジアビジネス研究会を継続し、アジア各国への事業展開に意欲的な県内企業等への有益な情報提供・交流の場を提供し、海外展開を促進する。 ・県内企業の海外展開をリードする地域グローバル人材の育成を図るため、大学生の海外留学を支援する。 ・県内商工団体等と連携し、県内企業に対して留学生人材の活用を図る企業の掘り起こしを実施する。 ・留学生獲得対策として、「おおいた留学フェアin中国」を県内大学と一体となって開催する。 ・留学生インターシップ支援事業として、大学コンソーシアムおおいたへ企業とのマッチングを行うコーディネーターを1名配置する。 |